



News Letter

No. 26

2007年11月10日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

<http://www.labornetjp.org>

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

ユニオン作って、生きさせる！ 「ユニオンYes!」キックオフ集会 ・レイバー映画祭が大成功



9月18日、「ユニオンYes! キャンペーン」キックオフ集会が、東京・なかのゼロ視聴覚ホールで開催された。参加者は約120名。会場は席が足りなくなるほど埋まり、熱気に包まれた。

ユニオンチューブ最新映像に続いて、ユニオンに入ったばかりの若者が語る。郵便局で働く非正規職員（ゆうメイト）は、「ユニオンに入ってどんな感じ?」の質問に「いい感じです(笑)。班長に対して、休みや配置で不満を言うと『課長に言え』と。課長に言うと『班長に言え』と、たらい廻し。組合で交渉してやっと話を聞いてもらえた。旅行添乗員の女性は、「ツアー毎の細切れ雇用で、深夜まで働いても

日当は同じ。社会保険もない。添乗員になりたいという高校生から、就職の相談をされた時『やめたほうがいい』としか言えなかった。このことが労働組合結成のキッカケ。一部の会社で深夜手当を実現させた。かつては労働組合に対し偏見があったが、作ってよかった。英字新聞・ヘラルド朝日で働く制作スタッフは、「9年間、何の手当てもなく日当のみ、社会保険なし、日雇い状態で働いてきた。アイルランド人の同僚に『これはおかしい』と言われ、労働組合に加入した。組合に入ったら契約更新を拒否されたが、不当解雇撤回の闘争中」など、熱い発言が続いた。

メインは、作家・雨宮処凛さんのトークショー「ユニオン作って、生きさせる!」。労働組合の会議や集会における二次会出費が二千元~三千元と高いこと。バラバラにされた労働者が、いかに悲惨な境遇で働いているのかなどのお話が出た。雨宮さんは、労使協調で正社員のみが安住し、社会的弱者のために闘わない「ダメ」労働組合を「ホッピー系労組」と命名。雨宮節が炸裂した。

新しいフレッシュな感覚

9月24日には、同会場で「レイバー映画祭」が行われた。上映作品は、「怒りの葡萄」「移民の記憶」「ピケをこえなかった男たち」「君が代不起立」「本山闘争・激闘34年の軌跡」「娘の時間・息子の場合・三分間の履歴書」「遭難フリーター」「フツの仕事をしたい」の8本。上映開始10時、終了21時という長時間労働に匹敵する過酷なプログラムにも関わらず、各回50~70名が鑑賞。トータルで120名が参加しま

ユニオンYes! キャンペーンにあなたも参加を(11~12月の予定)

グラフィックデザインコンテスト

ユニオンを若者に知ってもらうためのフライヤー/ポスターを募集中。最優秀賞10万円。締切12/10。詳しくは、http://www.npoposse.jp/union_yes

一斉労働相談キャンペーン

組合づくりの最初のきっかけは労働相談。それをもっと身近に感じてもらうということで、各組合の取り組みをこえた「横断的キャンペーン」を行います。アピールグッズを持ち寄って、11月23日「勤労感謝の日」は東京・秋葉原~新宿の「歩行者天国」に集まろう。(11時・秋葉原集合)

レイバーフェスタ2007

今年のレイバーフェスタは、ユニオンYes! キャンペーンの「総まとめイベント」。テーマはずばり「希望はユニオン」で、映画「地の塩」「フツの仕事をしたい」・寿のライブ・3分ビデオ・大ディスカッションなどを行います。12/15は東京ウィメンズプラザホールに集まろう。(大阪は12/9・別ページ参照)

ユニオンYes! キャンペーン賛同のお願い

ワーキングプア時代の新たな試みとして注目を集める「ユニオンYes! キャンペーン」。ユニオンチューブの開設その他、多額の運営費用がかかっています。ぜひあなたの賛同で支えてください。

団体5000円・個人3000円。郵便振替=00160-0-540611「ユニオンYes! キャンペーン」。



映画『フツ-の仕事がしたい』

した。各作品に対し惜しめない拍手が起きた。特に34年の闘いで職場復帰した全金本山闘争に対し「日本でもこんな闘いがあったのか！」と感銘の声が多かった。また、キックオフ集会で話題となった二次会を、さっそく会場裏の紅葉山公園で実践。会費は一人500円ポッキリで「学生時代みたいで懐かしい」と好感触だった。

キックオフ集会・レイバー映画祭に参加した人が

らは「新しいフレッシュな感覚に出会えた」「すごく明るい」「セクトをこえた新たな労働者のネットワークが始まった」などの熱い声も寄せられている。今後「キャンペーン」は「グラフィックデザインコンテスト」「街頭一斉労働相談」「レイバーフェスタ2007」と続く。あなたも一緒につくっていきましょう、ユニオンYes! キャンペーン。

メディアでも大きな反響（以下は報道したメディア）「週刊金曜日」「毎日新聞」「JANJAN」「しんぶん赤旗」「朝日新聞」「週刊新社会」「週刊MDS」「地域と労働運動」「労働情報」「Web ちくま」「月刊東京」など

ユニオンチューブは好評で、動画投稿は40をこえ、アクセスも4万に達しました。以下のサイトでチェックしてください。

- ・ユニオンYes!キャンペーン・ブログ
<http://unionyes.exblog.jp/>
- ・ユニオン・チューブ
<http://video.labornet.jp.org/>



映画『地の塩』『フツ-の仕事がしたい』の見どころ

精神の境界をこえる

木下昌明

今度レイバーフェスタで上映される『地の塩』に、わたしの好きなシーンがあります。これは実際にあったアメリカの鉱山労働者のストライキ闘争をもとに描いた映画ですが、そのなかで婦人たちのピケに、参加できないで見守っていた女主人公のエスペランサが、婦人たちともみ合い拳銃をとりだす警官をみて、とっさに自分の靴をぬいで叩きおとすところ。彼女はそれまで、組合のたたかいは女の出る幕じゃないという夫の言いなりでしたが、このアクションをきっかけに赤ん坊を夫にあずけて猛然とたたかう女性に変身するのです。抑圧された者がその呪縛された精神の境界をこえる瞬間がそこにとらえられていました。一瞬ですが、そのときの目を輝かす彼女の表情がわたしの脳裏にやきついていきます。

この彼女の軌跡をみればおわかりのように、人はその抑圧をはねのけると、理論で学んだり仲まど討論してわかったつもりになっていても、それだけではダメだということ、それだけでは自分を変えたことにならないということです。映画には、そのたたかう者の主体のあり方が描かれています。その点、わたしはレイバーネットの集まりに参加していて気づかされることですが、参加者のなかには解雇されてたたかった体験者が多いということ - - こういう人々の発言をきいていると、わたしはエスペランサのそのシーンを連想してしまいます。

また、これもフェスタで上映される土屋トカチの『フツ-の仕事がしたい』のなかで、主人公のトラック運転手が、一度は会社側から組合を脱退させられるものの、つぎには社長に向かって「組合をやめない」と宣言するシーンがでてきます。それは昂然と胸をはってといったものではないのですが、そ



今年のレイバーフェスタで上映予定の『地の塩』

れでも自らの意志によって、かれは被抑圧者としての精神の境界をふみこえるのです。これはエスペランサと同じで、自分で自分を前に押しやるのです。かれの場合、それには傍らで撮りつづける土屋のカメラの力が大きいといえます。

組合といっても、ここでは顔のないノッペラボウの集団としてではなく、一人一人が人生をかけて「労働者」を表明していく顔のある存在として描かれています。わたしたちはこういう自らの境界をのりこえる姿を映像化することが大切で、そこに労働者の文化たるゆえんがあります。労働者の文化は、出来合いの「文化」ではなく、たたかひのなかから生まれてくるものだからです。

(レイバーネット日本・運営委員)

根津さんのたたかいは「表現の自由」を守る最前線

佐々木有美

「君が代」斉唱時の不起立で都教委から累積処分を受け、来春にも解雇が危惧される根津公子さん。(根津さんはレイバーネット会員。レイバ-ネットでは彼女の停職「出勤」日記を連載してきた)。この秋から根津さんを解雇させないための様々な行動が始まっています。10月5日には都庁前で一日行動を展開。石原都知事の眼前で400人が自由で楽しい抗議の広場を作りました。ユニオンチューブで公開されたこの動画のアクセス数はダントツの890(11/5現在)また同日、サンフランシスコで行われた現地の教員たちによる日本領事館への抗議行動は、現地会員の鳥居和美さんがユーチューブにアップし、1400のアクセスを数えています。草の根メディアでつながる国際的な運動というものを実感する出来事でした。

解雇阻止のためのもう一つの大きな取り組みが新聞意見広告です。来年2月を目指して現在賛同基金を募っています(詳しくは同封のチラシをご覧ください)。大きな世論を作るためこちらへもどうぞご支援、ご協力お願いします。「自分の頭で考え、おかしいことにはおかしいと言う」根津さんの闘いは、日本のファシズム化を食い止め、「表現の自由」を守る最前線の闘いでもあります。

ドキュメンタリー映画「君が代不起立」(英語版)



を通して、フランス・カナダ・スウェーデン・韓国などにも支援の輪が広がりはじめました。「立たないだけでクビ!？」を許さないために、今、できることを始めましょう。(次回、都庁行動は12月25日)

意見広告振込先

郵便振替口座番号 = 00190-5-687225

口座名 = 「君が代」解雇をさせない意見広告基金

個人賛同 = 一口1000円から

団体賛同 = 一口2000円から 何口でも可

連絡先 042-571-2921 (多摩教組)

レイバーフェスタ2007 O S A K A

韓国女性労働者の映画を初公開

レイバーフェスタ O S A K A も、今年で4回目を迎える。3分ビデオは定着してきたが、メイン映像はいつもセレクトに困って、東京の後追いをしてきた。それでいくと今年『ナビゲーター』となるが、これはすでに観た人間が「あまりに暗い」とボツ。そこで突然に浮上したのが韓国ドキュメンタリー『私たちは風の中に立つ/韓国・東一(トンイル) 紡織労組 1972 ~ 2006』。

過酷な労働、「女のくせに」とバカにされ続けた若い女性労働者たちが一念発起し、韓国史上初の女性支部長を選出したものの、会社・政府・労働組合が一丸となった弾圧にさらされる。糞尿を浴びせられ、暴力を振るわれた彼女たちの写真はその当時、世界を駆けめぐった。

70年代に日韓連帯にかかわった面々のほとんどの方が覚えていたごとく、韓国民主化運動や今日の韓国労働運動の隆盛の先駆けとなった闘いである。とはいえ、これを制作したのは韓国でも若手の女性映像集団であり、この作品を見つけて翻訳・字幕作成をしたのも「若め」の女性。「独裁に対する闘い」以上に「女性としての闘い」に着目したように思われる。そして、30年前に解雇された彼女たちが、いま再び復職のための闘いに立ち上がっている姿に驚かされる。

ほかに3分ビデオ・海外ドキュメンタリー上映・創作落語などがある。

12月9日(日)11時開演、

エルおおさか南館ホール。

新会員紹介・向井真澄

覇気のある風通しのよい集まり

レイバーネットの会議に参加でき、感謝しています。一緒に参加したイラク平和テレビ局の3名の一致した感想は「覇気のある風通しのよい集まり」です。私は60年代の終わりに「組織された労働者と連帯し」というのが口癖の大学生でした。70年代初めに教育労働者となって「組織された労働者ってこれ？」と驚くことも多く、あれは幻想だったか、とも思いました。その後教育戦線から落ちこぼれ、フ

リーになって約20年、労働運動からは離れていました。このたび再び巡り合ったか、と思われましたが、違いました。再会ではなく、まったく新しい波に出会ったのです。「組織された」ではなく自らを組織化する、人間らしく生きるためには自分が立ち上がらなくちゃと気づいた者達が手をつなぎあって大きな力を作っていく、そんなわかりやすい、本然の運動に出会っている、という感動を覚えています。日本でも米国でもイラクでも、この新しい波が来ている、皆が会うのは必然、と感じます。皆様、どうか、これからもよろしく願いいたします。(レイバーネット国際部・イラク平和テレビ局 in Japan)

本とDVD 紹介

「偽装雇用 - 立ち上がるガテン系連帯」

「シリーズ労働破壊」(旬報社)の第1巻『偽装雇用 - 立ち上がるガテン系連帯』が出版された。2006年10月末に結成された、ガテン系連帯と日研総業ユニオン。たった2名の組合員でスタートしたが、派遣元のフルキャストセントラル、派遣先の日立製作所、日産自動車、タチエスなどで、次々とユニオンを結成。その活動過程がドキュメントで描かれている。著者は共同通信社の労働担当記者・大谷拓朗さん。1300円。



「日雇い派遣 グッドウィル、フルキャストで働く」

派遣ユニオン著『日雇い派遣 グッドウィル、フルキャストで働く』(旬報社)が出ました。派遣法で禁じられた港湾労働中に労災に遭い、ヒザを脱臼骨折したスタッフ。日雇い派遣をしながら、まんが喫茶で暮らすユニオン副委員長。自分を追いつめるように過酷に働き日雇い派遣で生計を維持する現場リーダー。この人たちが、なぜ日雇い派遣で働くようになり、どのような現場で働いているのかが、わかりやすくまとめられています。1300円。旬報社 03-3943-9911。

根津公子さんの単行本「希望は生徒」

「君が代不起立」の根津公子さんとはどんな「先生」なのか。30年以上、家庭科教師としてやってきた根津さんの歩みが本になった。「生かされる」よりも「生きる」力を、「自分の頭で考えよう」と生徒に問いかけ続けたドキュメント。学校に自由と平等をとりもどすために私たちにできることとは何か。副題は「家庭科の先生と日の丸・君が代」。1700円・影書房刊(FAX03-5907-6756)。また、関連物として漫画「教師の本分」(壺花花・100円・ビデオプレス)も好評だ。



DVD「本山闘争・激闘34年の軌跡」

解雇・組合分裂・暴力ガードマン・ロックアウト、会社のあらゆる攻撃を跳ね返して、ついに2005年、職場復帰を果たした本山闘争。戦後日本労働運動の歴史に残る34年の軌跡をドキュメント。2007年9月の「レイバー映画祭」で東京初上映され、感動の渦を巻き起こした。制作=全金本山労働組合 2007年・61分・3000円。TEL&FAX 022-274-0843 (ビデオプレスでも取扱中)



メールリストの基礎知識

メールリストは、メールによる同報通信システムで情報交換には大変便利である。レイバーネットではこのシステムを使って、320人会員の情報交換の場をつくっている。しかし、トラブルも起こりやすい。一番多いミスは、ある人のメールを読んで、その人・個人宛に返信したつもりが、メールリスト全体に流してしまうこと。これを防ぐには、来たメールが個人から届いたものか、メールリストで届いたものかを区別するクセをつけたい。メールリストによるメールには、必ずタイトルに [labor-members12345] という形で、メールリストの名前と配信番号が記されている。このメールに単に「返信」ボタンを押すと、メールリスト全体に返信してしまうことになる。いったん、送信してしまうと取り消すことはできない。メール

を出すときには、何度もあて先のアドレスを確認することが大事だ。

メールで使っていけない文字がある。機種依存文字といって、あるメーカーのマシンにしか使われていない文字で、他のマシンの人には文字化けとなる。一番多いのは、**〃**などの丸文字だ。時計数字**①**もだめ。また**々**も特殊文字。こうした文字は「百害あって一利なし」。使わないようにしたい。

添付ファイルも、さけたい。ワードなどのソフトを使っている人は確かに多いが、ワードのソフトを使っていない人は開けない。同じワードでもバージョンが違えば開けないこともある。どんなマシンでも、だれでも読めるのが「テキスト形式」。つまり、普通の文章でこれが基本である。同じように、画像ファイルの基本は「JPG方式」(ジエイペグ)。テキストとJPGが基本と覚えよう。

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。
年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578